

平成 30 年度前期アクティブ・ラーニング取組状況(その他の取り組み)

・ Many of the students comments about problems with Moodle are addressed by updating to newest versions. Some of them we try to address with better training for the students. The students come with very weak ICT skills. More of the orientation time would be better spent with Moodle training than telling the students about volunteer activities in Obihiro.

(基礎英語)

・ デジタルコンテンツは毎時間使用しており、自作テキストと組み合わせることで専門性が高く、より分かりやすく講義を心がけています。また、実際の現場での状況などを積極的に話題としても取り上げています。

(畜産機械・施設学)

・ 毎回の小テスト、授業中のクリッカー使用で授業態度と理解度の確認を行っています。また、グループワークで1つのテーマを経済学的視点から考察し、解決策を導くこと、それをプレゼンすることで実践的な知識を身に付けてもらっています。

(農業経済学)

・平成 30 年度前期は、非常勤講師の前田先生主導で講義を行った。講義の一週間前に、実験内容と予習課題を示すプリントを配布し、予習に基づき実験を進めた。レポートは毎週提出させ、次週にそのレポートのフィードバックとして講義冒頭に口頭で説明した。

(生物学実験)

・ Many of the students comments about problems with Moodle are addressed by updating to newest versions. Some of them we try to address with better training for the students. The students come with very weak ICT skills. More of the orientation time would be better spent with Moodle training than telling the students about volunteer activities in Obihiro.

・ Moodleなどを使っている

(日本と世界の食文化)

・ Many of the students comments about problems with Moodle are addressed by updating to newest versions. Some of them we try to address with better training for the students. The students come with very weak ICT skills. More of the orientation time would be better spent with Moodle training than telling the students about volunteer activities in Obihiro.

(English I (Communication))

・ Moodleを利用して授業を行っている。

(スペイン語 I)

・ 前回質問の集計値を次の授業の構成の一つにしています。小レポートの作成を求めています。

(農業と経済)

・ 生物化学には多くの教科書や問題集まであり、講義に個性を発揮する科目ではなく、学生がプレゼンをする前の段階のこうぎで

[ここに入力]

あり、また講義室で化学実験はできない。
(生物化学)

・ Moodle で予習・復習問題を提示しています。また、グループワークの時間を設け、自ら設定したテーマに対して現状の対策と賛否を報告する課題を与えています。
(農業資源経済学)

・ レポート課題は学外見学の時のみ提示している。
(環境保全型農畜産実習)

・ 出席カードでの出席の確認と質問・コメントの受付を行っている。授業資料はポータルを介して履修学生がダウンロードできるようにしている。毎回、前回授業内容の小テストを行っている。
(細菌学)

・ FDの経験を基に、おとし授業構成を変更しました。授業中に質問回答時間を設け、回答を発言してもらっています。
(国際農業開発協力論)

・ マーケティング実習なので、グループごとに新規事業を考え報告してもらっています。一番収益性が高い事業(グループ)を投票で決定しています。
(農畜産演習)

・ ほぼ毎回、授業後の復習の徹底と質問を奨励している。
(神経生理学・環境生理学)

・ ほぼ毎回、授業後の復習の徹底と質問を奨励している。
(細胞生理学・腎臓生理学)

・ ほぼ毎回、授業後の復習の徹底と質問を奨励している。
(循環生理学・呼吸生理学・消化生理学・内分泌生理学)

・ 教員による実験・実技等の演示、個別サポート、グループ内での話し合い・助け合い、質疑応答、レポート作成、など。
(微生物学実習)

・ 講義内外の質疑応答
(食肉衛生学実習)

・ FDの経験を基に、おとし授業構成を変更しました。授業中に質問回答時間を設け、回答を発言してもらっています。
(国際農業開発協力論)

・ 通常化学系では、講義で実験はできない。また講義ではきちんとした知識を教えたいので。連動した実習科目でアクティブラーニングを行っている。
(食品科学基礎実習Ⅰ)

・ 予習復習課題の提示や小テストやレポート課題など、工夫を重ねて行きたいと思えます。
(酵素化学)

[ここに入力]

・プリント数を絞りテストを2回に分ける、
予習復習課題の提示や小テストやレポート
課題など、工夫を重ねて行きたいと思いま
す。

(応用微生物学)

・プリントや実習手順等を工夫し、より分
かりやすい実習を心がけています。

(農業システム工学実習)